

旅芸人の記録 (1975)

O THIASOS

THE TRAVELLING PLAYERS

メディア 映画

ジャンル ドラマ 歴史劇

製作国 ギリシャ

色彩 Color

時間 232分

初公開日 1979/08/11

公開情報 フランス映画社

【解説】

軍事政権下、ある時には作品内容を前世紀の田園劇（それは実際に劇中劇として演じられる芝居“羊飼いの少女ゴルフォ”）と偽って一ちょうどナチ占領下のフランスの「天井桟敷の人々」のように一製作された、旅一座の家族を通じギリシア現代史をパノラミックに総括した壮大な映画の叙事詩。一家の物語はそのままアトレウス家の古代神話一戦争から帰ったアガ멤ノンが妻とアイギストスに殺され、やがて息子オレステスとその復讐を姉エレクトラと共に果す一をもじっている。これを39年のメタクサス将軍の極右独裁体制の開始から、ムッソリーニの侵攻、42年の独軍占領、44年の国民統一戦線（共産党系の国民解放軍と亡命した国王の復讐を望む王党派の民主国民同盟の連立政府）の勝利、戦後のゲリラ下部組織の掃討から共産派弾圧、52年のパパゴス元帥の軍事政権の誕生までの歴史事実を生々しく介在させ、政治の荒波に翻弄される画面外の民衆の息吹すら感じさせる偉大な作品。ひたすら曇天下での計算され尽くした路上のシークェンス・ショットは、古典劇の重みの中に過去の迫真の蘇りがみられ、幾度も息を呑んで見守ってしまうはずだ。

【クレジット】

監督	テオ・アンゲロプロス	Theo Angelopoulos	
製作	ヨルゴス・パパリオス	Giorgos Papalios	
脚本	テオ・アンゲロプロス	Theo Angelopoulos	
撮影	ジョルゴス・アルヴァニティス	Yorgos Arvanitis	
音楽	ルキアノス・キライドニス	Loukianos Kilaidonis	
出演	エヴァ・コタマニドウ	Eva Kotamanidou	エレクトラ
	ペトロス・ザルカディス	Petros Zarkadis	オレステス
	ストラトス・パヒス	Stratos Pahis	アガ멤ノン（父）
	キリアコス・カトリヴァノス	Kiriakos Katrivanos	ピュラデス
	アリキ・ヨルグリ	Aliki Georgouli	クリュタイネムストラ（母）
	マリア・ヴァシリウ	Maria Vassiliou	クリュソテミス（妹）
	ヨルゴス・クティリス		